

# 《2026年1～3月期会員景況感調査報告(全国版)》

総回答数 213社

## 1. 地域別内訳(事業の中心をおいている地域)(社)

東日本	65	中部日本	67	西日本	81
-----	----	------	----	-----	----

## 2. 売上(または取扱)商品の中で最もウェイトの高いものの内訳(社)

日用品・雑貨類	22	包装用容器・キャップ	24	電気・電子・通信部品	29
自動車・輸送機器部品	83	住宅関連	14	医療機器	4
その他	28				

## 3. 従業員の内訳(パートを含む)(社)

20人以下	42	21～50人	56	51～100人	51	101～300人	31
301人以上	17						

## 4. 今期(2026年1～3月期)の自社業況について(前期比・前年同期比 %)

※網掛けの数字は前回アンケート(25年10～12月期)の結果です。

※矢印は前期及び前年同期に比較した今期の値を±1%以内の場合(→)・上昇(↑)・下降(↓)で表しています。

	2026年1～3月期(実績)											
	前期(25年10～12月期)比						前年同期(2025年1～3月期)比					
	増加(↓)		横這(↓)		減少(↑)		増加(↑)		横這(↓)		減少(↓)	
生産・売上高	22.2%	29.4%	47.2%	49.7%	30.2%	20.8%	34.0%	27.9%	36.8%	39.1%	27.8%	31.5%
製品単価	20.3%	15.2%	76.4%	81.7%	2.8%	2.5%	40.1%	37.1%	56.6%	57.9%	2.4%	4.1%
採算	11.3%	12.7%	61.8%	64.0%	26.4%	23.4%	19.3%	19.8%	52.4%	53.8%	26.9%	25.4%
所定外労働時間	12.3%	11.7%	69.3%	75.1%	17.9%	13.2%	12.3%	12.7%	66.5%	67.0%	19.3%	18.8%
製品在庫	11.8%	14.2%	71.7%	67.5%	16.0%	18.3%	17.0%	12.2%	65.6%	67.0%	16.5%	18.3%
材料原料単価	59.0%	29.9%	39.2%	63.5%	0.9%	5.6%	69.8%	42.6%	24.5%	46.7%	4.2%	9.6%
総合判断	10.4%	13.7%	58.0%	65.5%	30.2%	20.3%	17.9%	18.3%	49.1%	53.3%	31.6%	26.9%
来期の見通し	7.5%	16.8%	33.5%	61.4%	57.1%	18.8%						

## 5. 当面の経営上の問題点(%)

※網掛けの数字は前回アンケート(25年10～12月期)の結果です。

売上不振	35.4%	31.0%	輸出不振	3.3%	2.5%	製品単価安	25.9%	25.4%	取引条件悪化	2.8%	2.5%	過当競争	4.7%	7.1%	輸入品との競合	1.9%	1.5%
流通経費増大	19.3%	16.8%	原材料高	76.4%	37.1%	借入負担増	6.6%	8.6%	銀行の貸渋り	0.5%	0.5%	人件費高	50.5%	59.4%	採用難	35.8%	43.7%
技能者不足	25.0%	26.9%	技術力不足	8.5%	12.7%	マーケティング力不足	5.2%	7.1%	設備過剰	1.9%	2.5%	法的規制	2.4%	2.5%	為替問題	8.5%	6.1%
環境問題	0.9%	3.0%	人材育成	25.5%	41.1%	研究開発	2.4%	3.0%	事業承継	4.2%	9.1%	その他	7.1%	3.6%			

## 5.当面の経営上の問題点におけるその他の意見

- ・中東情勢
- ・中東問題
- ・中東情勢の影響
- ・中東情勢の影響
- ・中東情勢の影響
- ・ホルムズ海峡閉鎖による業界混乱
- ・原油
- ・中東情勢による原油高
- ・中東情勢悪化による材料供給懸念
- ・原材料入手不足
- ・原材料入手困難
- ・原材料供給不安
- ・原料供給不足
- ・原材料の供給トラブル
- ・原材料調達
- ・原料不足/原料大幅高になる
- ・原材料の供給に不安定感
- ・材料供給不安
- ・材料供給制限
- ・材料、副資材他調達難
- ・ナフサによる原材料、副資材などの入手困難
- ・中東問題による原材料価格高騰、供給不足問題がどうなるのか。それに伴う生活コストの負担増もどうなるのか。
- ・人件費、諸経費の資金転嫁が困難です。
- ・取引適正化

○その他の意見がありましたら具体的にお書き下さい

※特に、中東情勢の変化による影響について記入をお願いしました。

- ・材料入荷不安有り。
- ・！材料入手困難！
- ・中東情勢による材料調達。
- ・原材料高、もしくは供給難。
- ・樹脂供給制限あり。今後心配。
- ・原料、消耗品等の入手が難しくなりつつある。
- ・原料が入ってこない。
- ・材料屋が出し渋っている感じがするが、メーカーが昨年実績で割り当てているらしい。
- ・原材料、副資材の高騰と入手困難。
- ・原材料、副資材(ポリ袋、エサフォーム等)の高騰、品薄による供給停止。
- ・樹脂原料入手不安(現時点では問題となっていない)。
- ・原料の供給不安定化による経営環境の悪化。
- ・原料調達難、原材料高、納入遅延。
- ・材料、資材、LNG 等全てに不安！
- ・材料の上昇対応追いつかず。
- ・樹脂原材料の入手難、価格上昇も発生、再起の見通しが立たない状況になっている。
- ・原材料の仕入れに制限がかかっており、生産のスケジュールが立ちません。どこの企業様も同じと思いますが。
- ・材料・資材の値上げ、材料供給不透明、生産稼働。
- ・材料調達の見通しが不安定のため苦慮している。
- ・中東情勢の影響により、原料値上がりと一部原料が入らないのが現状である。
- ・樹脂原料/資材の供給制限で、特に実績が少ないグレードの原料が入手困難。
- ・連休明けの原料調達が不透明。
- ・4月以降原料入荷に影響大。原料発注してもすべて保留の返事。
- ・原料が継続的に入荷するのか？懸案事項である。
- ・4月より材料・副資材が値上げ。
- ・PT,PEにおける供給不安と価格上昇、今後の材料調達。
- ・原料高 100円/kg 高に加え、6月くらいまでの手配しか出来ない。
- ・加工機の切削油の入手が困難、または価格が高騰している。
- ・原料調達が難しい。価格も大幅UPしており、製品単価への転嫁を進めている。
- ・バージン材料の供給制限と単価30%UP、新規案件のお断りが発生している。
- ・具体的に原油が来ないということは今までなかった、連日の供給難とコストUPの連絡で対応に追われている。
- ・PE/PP等の汎用材料から、注文制限が発生しはじめてきました。今後の動向に注視が必要です。

- ・4月は材料が入りにくいとメーカーから言われていますが、5月はもっと入らなくなるともいわれております。
- ・戦争でナフサが入荷しないため、材料価格がとんでもなくUP(100~200円/kg、1t買うと10~20万円のレベル)。
- ・この先の原料調達が不透明。最悪、生産ストップの可能性も出てくる。
- ・原料調達「難」、納品制限(6-8月)、7月以降生産停止も想定。代替調達の可能性を探る。
- ・現状具体的な影響はないが、原材料等の影響を懸念する。
- ・実際の価格上昇は軽微であるが、影響が大きくなると予想している。
- ・中東情勢悪化による原材料高、原材料供給不安、受注への影響はまだ少ないと感じる。
- ・今のところ材料値上げはないが、上がる可能性大(様子見)。
- ・出荷用のビニール不足による価格高騰(30%以上)及び、納入停止連絡あり。
- ・材料商社からは値上げ通知と4月中旬以降の納期回答が未定で、5月以降の受注は停止されている。
- ・原材料及び部材単価の異常値上げ。原材料及び部材の納期遅延及び増産不可。前もっての注文分が対象扱いとなり、弊社では自己負担となる為利益が圧迫。これからさらに光熱費増が発生する。
- ・原材料、副資材の急速且つ、大幅な値上げに辟易しています。値上げ要請から数日後の「4/1より30%値上げ」という副資材もあり、顧客への転嫁が間に合いません(さすがに原材料はまだマシですが・・・)。
- ・現時点では大きな影響は出ていないが、4月以降の材料の入手、価格の不透明感に大きな危惧を抱いている。
- ・石化原料を主に販売しているが、5月以降の供給量は日々状況が悪化している。4月以降の価格も通達ベースで改定や供給難による生産停止を懸念。
- ・子会社の原料調達に目途がたたない物があり苦慮している。原料価格も日々上昇しており、収益に大きな影響を与える可能性が高い。
- ・原料梱包資材が入手困難になる。値上がりは想像以上。1ヶ月先の見通しが立てられない。
- ・中東情勢により、足下のナフサ価格が大幅に上昇しており、損益に多大な影響がある。また、先行きが不透明で最悪の場合、樹脂が調達できなくなる可能性がある。
- ・今のところは大きな影響はないが、ナフサ関連の部材の調達に課題はあります。また、得意先の減産の可能性もあると感じています。
- ・減産及び一部のライン停止により売上高が減っているが、長びくことによる樹脂材調達不足になれば大打撃となる。
- ・中東情勢により、原材料はもとより、塗料、溶剤等の入手ができなくなってきており、生産に影響が出始めている。

- ・中東情勢の悪化により部材の高騰だけでなく調達のリスクが発生し、生産に支障が出る可能性があります。
- ・中東情勢の変化は多大な影響が出ております。取扱いの多くが石油関連製品の為、原材料メーカーからの値上げ要請が相次いでおり、吸収しきれない。
- ・原料が調達できるか？高騰した原料を用いて製品を作ったとして、それを継続して購入してもらえるかが、大きな不安要素となっています。キャッシュが不足していくと資金繰りにも影響するのではと、こちらも不安です。
- ・現時点では中東情勢による大きな影響は特にありませんが、今後原材料の高騰などが懸念され、運送費等への影響も考えられます。
- ・原料単価の上昇による利益減少、製品単価UPの交渉が当面の課題となります。
- ・中東影響により材料の供給制限、価格UPの対応を日々行っている。材料価格の上昇を製品価格へ反映させることに苦慮している。
- ・サプライヤーからの原材料価格スポット値上げ及び、供給制限の案内があり、生産調整等の対応が必要。顧客への価格転嫁の対応が必要。
- ・中東情勢による原材料費・エネルギー高騰が懸念、製品単価値上げ交渉。
- ・中東情勢の悪化で先行きが不透明。EVの凋落が売上げ不振に拍車をかけています。
- ・今後につきまして、売上は増加の見通しでしたが、中東情勢の悪化により材料費の大幅値上げ、供給不足(材料)等により、先行きが不透明になってきた。
- ・すでに4月から原料の大幅値上げが打ち出されているが、急すぎて価格転嫁が間に合わない。また、一部の原料の入手ができず生産計画を見直ししなければならない。稼働率低下は避けられない状況にある
- ・中東情勢により樹脂原料の大幅な値上げ、また、一部原材料の生産中止で仕入が困難な状態。材料メーカー、着色メーカーより供給の支障がすでに起きており、社内の保管材料によっては、製品の成形、生産の中止の可能性がある状態です。
- ・材料費の値上げと仕入について連日連絡があり、価格の交渉や製品単価への反映について協議中。中東向け製品の注文は下方修正もみられるため売上にどのくらい影響が出て来るか要注意の状況。
- ・中東情勢により、すでに一部プラスチック原料で大幅値上げの動きがある。また、供給制限の可能性についての案内もあることから、状況が長引けば事業継続にリスクがある環境になりそうです。
- ・材料メーカーからの価格アップは決定済み、今後の供給不安についての情報のみで見通しは不透明です。今の状況が続くのであれば、最悪材料がストップ、生産停止になります。資金繰りなど、運転資金の手当てが必要になると思います。
- ・原材料、包装材料、接着剤等全ての材料が桁外れに高騰し、調達すらままならない状況。早ければ5月から供給ストップする添加剤も発生し、生産できない事態にまで追いつめられている。自社努力ではカバーできないので今後の経営に大きな不安が残る。
- ・26年4月より新製品の立上げで売上が好転する見込みだったが、見通しは不透明。表

面処理で使用する塗料、シンナー、洗浄液などの価格が超高騰、出荷制限がかかっている。今後は出荷停止になる可能性があり、生産減、生産停止になる可能性がある。

- ・本年 4-6 月の受注は変わらないが、4/1 および 5/1 から大幅な原材料値上げ(ポリエチレン@90 円/kg)となり、弊社としては 5/1 より原材料の値上がり分のみ、製品単価を上げる方針を取引先各社に打診をした所です。
- ・材料と資材メーカー各社より、値上げの連絡が届いている。また、その先の供給困難が予測できない旨の情報もある。材料が入手できなければ、当社で生産ができない。できたとしても資材がなければ出荷ができない。どうしようもなくなる。(不安をあおる報道にも困っている)。
- ・中東情勢不安定化による影響が少しずつ出てきている。平和的解決を早期に図り、健全なビジネス構造に戻す必要がある。世界情勢の健全化に向けて、日本政府及び関係各国との早期解決を切に望んでいる。
- ・戦闘終結が読めない状況では、影響について想定できません。ただナフサに関するニュースが入っているので、各材料メーカーからの情報と整合性を取り、原材料の仕入や在庫調整に活かしたい所存です。
- ・中東向け自動車部品生産ストップで売上減です。
- ・ランドクルーザーの生産半減で一部休業している社員がいます。再開の見込みが無く、補償の話もないのでどうしようもない状況です。
- ・顧客から前倒しの注文が入るも納期回答を保留している。
- ・来季の見通しはトランプ次第！折角経済が安定して来たのに、トランプの騒動で見通し悪化となってしまった。
- ・業況は好転しつつあるが、人員不足で間に合わない状況になりつつある。また、ホルムズ海峡の問題で先行きが全く見通せなくなった。
- ・昨今の中東情勢による原料価格 UP とそれに伴う価格改定が目下の営業の仕事になりつつある状況。それは樹脂材料のみならず、副資材、運賃、光熱費、電気代と影響が拡大しており、さらに不透明感が拭えない。

また、樹脂の調達自体の問題もあり、特に 5 月後半以降の機械稼働可否も潜在する問題となる。さらに、その周辺の石油化学製品の調達も不安定さを増しており、どこにどのような影響が出だすかわからず、製造業全体に大きな影響を及ぼさないか、不安を抱えている状況である。

- ・法規制、人柄、道徳心の低下が影響。労働者の思慮が浅い傾向にあり、経営上の問題に比肩する。これらは労働法や教育によるものと考えられ、何らかの対策が必要。
- ・中東情勢については注視している。取引条件は取適法により良化の面もあるが、金型の管理には問題が大きい。

## 各分類ごとの業況判断(2026年1～3月期 前期比)

数字は前期比で、単純平均%で表示しております  
 傾向がわかるように、値が50%以上の場合は網掛けを行っております

団体別	①生産高・売上高			②製品単価			③採算			④所定外労働時間			⑤製品在庫			⑥材料原料単価			⑦総合判断			⑧来期の見通し		
	増加	横這	減少	上昇	不変	下落	好転	横這	悪化	増加	横這	減少	増加	不変	減少	上昇	横這	下落	好転	横這	悪化	好転	横這	悪化
東日本	26.2%	44.6%	27.7%	21.5%	72.3%	4.6%	16.9%	56.9%	24.6%	13.8%	72.3%	12.3%	12.3%	69.2%	16.9%	61.5%	33.8%	1.5%	15.4%	58.5%	24.6%	7.7%	41.5%	47.7%
中部日本	16.4%	43.3%	40.3%	17.9%	80.6%	1.5%	9.0%	58.2%	32.8%	7.5%	65.7%	26.9%	9.0%	77.6%	13.4%	53.7%	46.3%	0.0%	3.0%	58.2%	37.3%	4.5%	41.8%	52.2%
西日本	23.5%	51.9%	23.5%	21.0%	75.3%	2.5%	8.6%	67.9%	22.2%	14.8%	69.1%	14.8%	13.6%	67.9%	17.3%	60.5%	37.0%	1.2%	12.3%	56.8%	28.4%	9.9%	19.8%	67.9%

製品別	増加	横這	減少	上昇	不変	下落	好転	横這	悪化	増加	横這	減少	増加	不変	減少	上昇	横這	下落	好転	横這	悪化	好転	横這	悪化
	日用品・雑貨類	9.1%	63.6%	27.3%	22.7%	77.3%	0.0%	13.6%	54.5%	31.8%	18.2%	68.2%	13.6%	13.6%	63.6%	22.7%	68.2%	27.3%	4.5%	9.1%	50.0%	40.9%	4.5%	9.1%
包装容器・キャップ	29.2%	37.5%	29.2%	25.0%	70.8%	0.0%	16.7%	62.5%	16.7%	4.2%	83.3%	8.3%	12.5%	75.0%	8.3%	41.7%	54.2%	0.0%	16.7%	62.5%	16.7%	4.2%	12.5%	75.0%
電気・電子・通信部品	27.6%	41.4%	31.0%	17.2%	82.8%	0.0%	10.3%	58.6%	31.0%	17.2%	58.6%	24.1%	13.8%	69.0%	17.2%	79.3%	20.7%	0.0%	10.3%	51.7%	37.9%	6.9%	37.9%	55.2%
自動車	24.1%	43.4%	31.3%	15.7%	78.3%	4.8%	12.0%	61.4%	25.3%	12.0%	62.7%	24.1%	10.8%	73.5%	14.5%	49.4%	47.0%	1.2%	13.3%	55.4%	27.7%	10.8%	39.8%	45.8%
住宅関連	28.6%	50.0%	21.4%	14.3%	85.7%	0.0%	14.3%	64.3%	21.4%	14.3%	71.4%	14.3%	14.3%	78.6%	7.1%	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	78.6%	21.4%	7.1%	28.6%	64.3%
医療機器	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	75.0%	25.0%	25.0%	25.0%	50.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	25.0%	75.0%	0.0%
その他	17.9%	53.6%	28.6%	35.7%	60.7%	3.6%	3.6%	67.9%	28.6%	10.7%	82.1%	7.1%	10.7%	71.4%	17.9%	67.9%	32.1%	0.0%	3.6%	64.3%	32.1%	3.6%	42.9%	53.6%

人数別	増加	横這	減少	上昇	不変	下落	好転	横這	悪化	増加	横這	減少	増加	不変	減少	上昇	横這	下落	好転	横這	悪化	好転	横這	悪化
	20人以下	33.3%	38.1%	26.2%	28.6%	66.7%	2.4%	14.3%	59.5%	23.8%	9.5%	71.4%	16.7%	14.3%	64.3%	19.0%	61.9%	35.7%	0.0%	14.3%	57.1%	26.2%	9.5%	26.2%
21～50人	21.4%	41.1%	37.5%	26.8%	69.6%	3.6%	12.5%	51.8%	35.7%	14.3%	66.1%	19.6%	16.1%	67.9%	16.1%	67.9%	30.4%	1.8%	12.5%	46.4%	39.3%	8.9%	35.7%	50.0%
51～100人	19.6%	51.0%	29.4%	17.6%	82.4%	0.0%	7.8%	68.6%	23.5%	11.8%	66.7%	21.6%	13.7%	72.5%	13.7%	54.9%	43.1%	0.0%	9.8%	56.9%	33.3%	9.8%	27.5%	62.7%
101～300人	16.1%	48.4%	35.5%	12.9%	83.9%	3.2%	12.9%	58.1%	29.0%	12.9%	64.5%	22.6%	6.5%	74.2%	19.4%	48.4%	48.4%	3.2%	6.5%	64.5%	25.8%	3.2%	45.2%	48.4%
301人以上	11.8%	70.6%	17.6%	5.9%	88.2%	5.9%	11.8%	76.5%	11.8%	11.8%	82.4%	5.9%	0.0%	88.2%	11.8%	58.8%	41.2%	0.0%	0.0%	82.4%	17.6%	5.9%	35.3%	58.8%

## 各分類ごとの業況判断(2026年1～3月期 前年同期比)

数字は前年比で、単純平均%で表示しております

傾向がわかるように、値が50%以上の場合は網掛けを行っております

団体別	①生産高・売上高			②製品単価			③採算			④所定外労働時間			⑤製品在庫			⑥材料原料単価			⑦総合判断		
	増加	横這	減少	上昇	不変	下落	好転	横這	悪化	増加	横這	減少	増加	不変	減少	上昇	横這	下落	好転	横這	悪化
東日本	36.9%	38.5%	23.1%	38.5%	55.4%	4.6%	21.5%	49.2%	27.7%	12.3%	69.2%	15.4%	21.5%	58.5%	18.5%	73.8%	21.5%	1.5%	23.1%	49.2%	26.2%
中部日本	26.9%	35.8%	37.3%	31.3%	65.7%	3.0%	17.9%	52.2%	28.4%	7.5%	65.7%	25.4%	9.0%	76.1%	14.9%	58.2%	37.3%	4.5%	10.4%	55.2%	34.3%
西日本	37.0%	35.8%	23.5%	48.1%	49.4%	0.0%	18.5%	54.3%	24.7%	16.0%	64.2%	17.3%	19.8%	61.7%	16.0%	75.3%	16.0%	6.2%	19.8%	43.2%	33.3%

製品別	増加	横這	減少	上昇	不変	下落	好転	横這	悪化	増加	横這	減少	増加	不変	減少	上昇	横這	下落	好転	横這	悪化
日用品・雑貨類	36.4%	31.8%	31.8%	36.4%	63.6%	0.0%	18.2%	45.5%	36.4%	18.2%	59.1%	18.2%	18.2%	63.6%	18.2%	81.8%	4.5%	13.6%	9.1%	45.5%	45.5%
包装容器・キャップ	50.0%	29.2%	16.7%	41.7%	58.3%	0.0%	33.3%	58.3%	8.3%	8.3%	79.2%	8.3%	29.2%	70.8%	0.0%	50.0%	41.7%	8.3%	33.3%	45.8%	20.8%
電気・電子・通信部品	41.4%	41.4%	17.2%	37.9%	62.1%	0.0%	13.8%	62.1%	24.1%	10.3%	65.5%	24.1%	34.5%	51.7%	13.8%	86.2%	13.8%	0.0%	17.2%	51.7%	31.0%
自動車	28.9%	37.3%	31.3%	37.3%	56.6%	3.6%	20.5%	49.4%	26.5%	13.3%	59.0%	25.3%	9.6%	69.9%	18.1%	62.7%	30.1%	4.8%	15.7%	51.8%	28.9%
住宅関連	35.7%	35.7%	28.6%	28.6%	71.4%	0.0%	28.6%	42.9%	28.6%	21.4%	64.3%	14.3%	14.3%	71.4%	14.3%	71.4%	28.6%	0.0%	28.6%	50.0%	21.4%
医療機器	50.0%	25.0%	25.0%	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	100.0%	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%
その他	25.0%	42.9%	28.6%	57.1%	35.7%	3.6%	10.7%	53.6%	32.1%	7.1%	78.6%	10.7%	10.7%	64.3%	21.4%	78.6%	17.9%	0.0%	14.3%	46.4%	35.7%

人数別	増加	横這	減少	上昇	不変	下落	好転	横這	悪化	増加	横這	減少	増加	不変	減少	上昇	横這	下落	好転	横這	悪化
20人以下	38.1%	31.0%	26.2%	40.5%	52.4%	4.8%	23.8%	42.9%	31.0%	14.3%	61.9%	21.4%	11.9%	71.4%	14.3%	78.6%	14.3%	4.8%	19.0%	42.9%	35.7%
21～50人	28.6%	41.1%	30.4%	46.4%	50.0%	3.6%	17.9%	46.4%	33.9%	14.3%	62.5%	21.4%	23.2%	53.6%	23.2%	73.2%	23.2%	3.6%	17.9%	44.6%	37.5%
51～100人	37.3%	29.4%	29.4%	37.3%	58.8%	0.0%	17.6%	54.9%	23.5%	9.8%	60.8%	23.5%	21.6%	58.8%	15.7%	70.6%	23.5%	2.0%	15.7%	52.9%	27.5%
101～300人	25.8%	48.4%	25.8%	35.5%	64.5%	0.0%	22.6%	58.1%	19.4%	9.7%	74.2%	16.1%	9.7%	74.2%	16.1%	51.6%	38.7%	9.7%	19.4%	54.8%	22.6%
301人以上	52.9%	29.4%	17.6%	35.3%	64.7%	0.0%	23.5%	64.7%	11.8%	17.6%	76.5%	5.9%	5.9%	88.2%	5.9%	64.7%	29.4%	5.9%	23.5%	52.9%	23.5%

## 全体および製品別分類ごとの経営上の問題点(2026年1～3月期)

単純平均%で表示しております

傾向がわかるように、値が50%以上の場合は網掛けを行っております

経営上の問題点	売上不振	輸出不振	製品単価安	取引条件悪化	過当競争	輸入品との競合	流通経費増大	原材料高	借入負担増	銀行の貸渋り	人件費高	採用難	技能者不足	技術力不足	マーケティング力不足	設備過剰	法的規制	為替問題	環境問題	人材育成	研究開発	事業継承	
<b>製品別</b>																							
日用品・雑貨類	45.5%	0.0%	36.4%	0.0%	9.1%	4.5%	40.9%	100.0%	4.5%	0.0%	45.5%	18.2%	22.7%	13.6%	9.1%	4.5%	9.1%	27.3%	4.5%	18.2%	4.5%	4.5%	
包装容器・キャップ	16.7%	0.0%	16.7%	4.2%	4.2%	0.0%	29.2%	87.5%	12.5%	0.0%	50.0%	41.7%	16.7%	8.3%	0.0%	4.2%	0.0%	12.5%	0.0%	33.3%	4.2%	0.0%	
電気・電子・通信部品	37.9%	3.4%	24.1%	0.0%	3.4%	0.0%	20.7%	89.7%	6.9%	3.4%	58.6%	41.4%	34.5%	10.3%	13.8%	3.4%	0.0%	10.3%	0.0%	27.6%	0.0%	3.4%	
自動車	38.6%	4.8%	27.7%	6.0%	4.8%	2.4%	12.0%	65.1%	4.8%	0.0%	51.8%	39.8%	24.1%	3.6%	1.2%	2.4%	2.4%	2.4%	0.0%	21.7%	2.4%	6.0%	
住宅関連	28.6%	0.0%	14.3%	0.0%	7.1%	0.0%	7.1%	85.7%	0.0%	0.0%	50.0%	35.7%	28.6%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	7.1%	35.7%	0.0%	0.0%	
医療機器	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	50.0%	25.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	
その他	39.3%	3.6%	28.6%	0.0%	7.1%	3.6%	21.4%	67.9%	7.1%	0.0%	42.9%	32.1%	17.9%	17.9%	14.3%	0.0%	7.1%	3.6%	0.0%	28.6%	7.1%	10.7%	
<b>人数別</b>																							
20人以下	42.9%	2.4%	42.9%	4.8%	4.8%	2.4%	28.6%	81.0%	4.8%	0.0%	61.9%	28.6%	26.2%	4.8%	4.8%	0.0%	2.4%	2.4%	2.4%	28.6%	2.4%	4.8%	
21～50人	41.1%	0.0%	26.8%	0.0%	5.4%	0.0%	14.3%	82.1%	8.9%	0.0%	48.2%	30.4%	25.0%	14.3%	8.9%	1.8%	3.6%	7.1%	0.0%	28.6%	5.4%	5.4%	
51～100人	33.3%	3.9%	13.7%	0.0%	5.9%	2.0%	21.6%	76.5%	5.9%	2.0%	49.0%	39.2%	19.6%	7.8%	2.0%	3.9%	2.0%	11.8%	0.0%	17.6%	0.0%	2.0%	
101～300人	41.9%	6.5%	25.8%	0.0%	0.0%	3.2%	16.1%	51.6%	3.2%	0.0%	48.4%	54.8%	32.3%	6.5%	6.5%	3.2%	0.0%	6.5%	0.0%	29.0%	0.0%	6.5%	
301人以上	11.8%	5.9%	11.8%	17.6%	11.8%	5.9%	0.0%	88.2%	5.9%	0.0%	29.4%	35.3%	23.5%	11.8%	5.9%	0.0%	5.9%	17.6%	0.0%	23.5%	5.9%	0.0%	